

# こまぼんのなるほど！ みなと講座

～港湾・空港のことをもっと知っていただくために～



ぼくの名前は「こまぼん」。小松島港湾・空港整備事務所のマスコットキャラクターだよ。タヌキの耳としっぽが目印。一般公募によって名前がつけられたんだ。

## より一層の港湾保安対策強化に向けて

国際的な連続テロ事案が発生する等、我が国に対するテロの脅威が現実のものとなっている昨今、人及び物の流れの拠点である港湾においても、テロ対策をはじめとする保安対策の一層の強化が求められています。

当事務所は「自己警備の総括責任者」として、徳島小松島港及び橘港における港湾保安対策業務を行っています。通常業務として、国により承認された埠頭保安規程に基づく適切な保安措置をチェックする立入検査をはじめ、定期的な港湾施設の保安巡視、保安情報等の関係機関との連絡調整等を行っています。

12月5日、東京オリンピック・パラリンピックの開催を控えていることを踏まえ、日頃から保安業務で連携している港湾管理者、海上保安部、警察、税関、入国管理局等の機関がそろって、徳島小松島港赤石地区等のフェンス等保安設備を初めて合同で点検しました。参加機関の様々な視点により保安上の気付きや知見について共有を図る貴重な場となり、大変有意義なものとなりました。

これからも引き続き、関係機関と連携し、より一層の安心安全な港湾施設の保安対策を進めてまいります。



赤石地区での合同点検

## 防災エキスパートとの合同学習会の実施

11月21日、小松島港湾・空港整備事務所において「防災エキスパート※」と当所職員合同で地震災害を想定した訓練を実施しました。

本訓練では、GNSS（衛星測位システム）を用いた被災状況の調査訓練とともに、わかりやすい報告資料とするための測量結果整理手順や写真撮影方法等を確認しました。

今回の訓練により、各施設の構造図等の電子データ保管等、事前準備の重要性が再認識され、有意義な訓練となりました。

### ※防災エキスパートとは

災害発生時に港湾・空港施設などの災害復旧活動を、迅速、確実、効果的に実施できるように、被災情報収集等の支援活動を行う専門知識を有したボランティアのこと。



GNSS測量実施



岸壁調査実施



報告書とりまとめ

## 近畿地方整備局と合同で「台風による浮遊ゴミの撤去訓練」を実施

12月9日、今年の台風10号において、流木等大量の漂流物が発生した紀伊水道北部沼島沖において、当事務所と近畿地方整備局和歌山港湾事務所が連携して「台風による浮遊ゴミの撤去訓練」を実施しました。

訓練は、台風により大量のガレキ等が海域に流出し、紀伊水道北部の沼島周辺～徳島沖の海上輸送航路が塞がれたと想定し、当事務所からは海面清掃船兼油回収船「みずき」、和歌山港湾事務所からは同船「海和歌丸」が緊急出動し、2船が連携した浮遊ゴミの撤去及び流出油対策を実施しました。

また、河川から航路への海底土砂流出による埋没状況の確認を目的として、当事務所からは港湾業務艇「ひのみね」、和歌山港湾事務所からは同船「はやたま」も出動し、海面地形を面的に捉えることができるナローマルチビーム測深機を用いた土砂埋没状況調査訓練も併せて実施しました。

訓練を通して、災害への対応力の強化を行うことにより、台風後も確実に緊急物資等の海上輸送に必要な航路を確保でき、船舶航行の安全、安心を提供できるものと考えています。また、今後も定期的に訓練を実施することにより、四国・近畿の両整備局の災害への対応力のさらなる強化も図り、有事の際は連携して迅速に対応を行いたいと考えています。



クレーン作業訓練



コンテナ回収作業訓練



放水拡散訓練



土砂埋没状況調査訓練